



家の裏山には竹林があって、人が竹を上手に利用し、竹林を管理し、人と竹とが共存してきたのが、昔ながらの里山の風景でした。

でも今は、プラスチック製品が安く手に入るようになり、日々の暮らしの中で竹が使われる場面は随分少なくなりました。里山では過疎化や高齢化が進み、竹林を管理する人手が足りなくなりました。そして、竹林の増殖が問題になり、竹が悪者扱いされるようになりました。

もう一度、人と竹とのいい関係を取り戻すことはできないでしょうか？暮らしの中で、楽しみながら竹が使われる場面が増えることを願って、みんなで竹炭をつくることにしました。

ドラム缶などの身近な材料で作れる手作り炭窯を使って、誰でも手軽に竹炭を作ることができる方法を、一緒に学んでみませんか？

【 日時 】 2018年 9月29日 (土) 9:30 ~ 9月30日 (日) 12:00

【 集合場所 】 岡村港フェリーターミナル

※自家用車でお越しにならない場合は、島内での移動手段はこちらで用意いたします。

【 講師 】 高知大学農林海洋科学部附属 暖地フィールドサイエンス教育研究センター
フィールド技術室長 今安清光先生

【 参加費 】 8000円 (宿泊費、懇親会費、1日目昼食費、2日目朝食費込)

※宿泊の必要のない方は、宿泊料3240円を差し引かせていただきます。

※1日目のみの参加も可能です。

参加費 懇親会参加の場合： 4000円 (昼食費・懇親会費込)

懇親会不参加の場合：1000円 (昼食費込)

ただし、応募多数の場合は全日程参加できる方を優先させていただきます。

【 定員 】 12名程度まで

【 主催 】 特定非営利活動法人きないやせきぜん

【 申込み 】 9月22日 (土) までに、担当：吉井までお申込みください。

Tel : 050-5240-2326 E-mail : nkeishiyo@gmail.com

<竹炭の利用法>

- ・不純物を吸着する作用があるため、水や空気、天ぷら油などの浄化に利用できます。
- ・ミネラルを豊富に含んでいるので、水を美味しくしたり、風呂に入れると肌がすべすべします。
- ・電磁波や静電気の防止、米びつの虫予防、湿気やカビを防ぐ作用があります。

スケジュール

【1日目 9月29日（土）】

- 9:30 岡村港フェリーターミナル集合 →現地へ移動
10:00～ オリエンテーション
10:20～ 窯の据え付け（煙突も付ける）
10:50～ 竹を割る+炭材を窯に詰める（同時進行）
11:20～ 火口をつくる
12:00～ 昼食（まるせきカフェ）
13:00～ 火入れを行う
14:30～ 自発炭化が始まればその場を離れてよい（8時間～16時間）
～17:00 岡村島内見学ツアー →関前ふるさと交流館へ移動
18:00～21:00 懇親会（関前ふるさと交流館）
※島の漁師さんの刺盛りなどをご用意する予定です。
22:30 窯の様子をチェック →関前ふるさと交流館にて宿泊

【2日目 9月30日（日）】

- 朝食（関前ふるさと交流館）
6:00～12:00 窯の様子をチェックし、窯止め作業

今治港からのアクセス

<往路>	今治港発	岡村港着
フェリー第二せきぜん	8:25	9:25

<復路>	岡村港発	今治港着
旅客船とびしま	12:30	13:28
フェリー第二せきぜん	13:30	14:30
フェリー第二せきぜん	16:15	17:35
旅客船とびしま	17:35	18:33

※旅客船とびしまには、自動車での乗船はできません。

宗方港（大三島）からのアクセス

<往路>	宗方港発	岡村港着
フェリーみしま	8:50	9:13

<復路>	岡村港発	宗方港着
旅客船とびしま	12:30	12:54
フェリーみしま	15:00	15:23
フェリーみしま	15:50	16:13
旅客船とびしま	17:35	17:59
フェリーみしま	18:05	18:28

※旅客船とびしまには、自動車での乗船はできません。

呉市方面から、とびしま海道経由でお車でいらっしゃる方へ

7月豪雨災害の影響で、道路通行規制がかかっている箇所があります。
呉市の道路通行規制情報をご確認ください。

<https://www.city.kure.lg.jp/soshiki/28/kurekansen6.html>